

Title	三田商学研究 第30巻第2号, 第3号 Keio economic studies vol. 23, no. 1, 1986
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1987
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.80, No.3 (1987. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19870801-0089

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田商学研究 第30巻 第2号

<論文>

中高年(者)の生活環境と生活保障—社会的視角に立って—……庭田 範 秋
F検定の応用によるノンパラメトリック検定の試み……岡本 大 輔
現代巨大企業の多角形的展開

——BASF社における多角化・多国籍化形態の考察を媒介として——…植竹 晃 久
国際金融構造の分析方法について……赤川 元 章
1880年代から1920年代におけるアメリカ電機産業の海外進出……吉田 正 樹
企業内昇進における「効率」と「動機づけ」
——わが国企業における資格制度の機能について——……八代 充 史

<研究ノート>

「客観性概念」論くその1—伝統的な解釈を中心に—……友岡 賛

<資料>

社長および各界リーダーのインタビュー・サーベイ(2)

——元通産大臣, 商工委員会委員長, 曙ブレーキ工業社長,
東京電気社長, TDK社長, 秩父セメント会長……清水 龍 瑩

頒価 1,000円 送料 160円

慶應義塾大学商学会

発売所
慶應通信
電 03-451-3584

三田商学研究 第30巻 第3号

<論文>

エネルギー価格変化と資源配分

——一般均衡モデルによる租税政策効果—— ……黒田 昌 裕
桜本 光 希
河井 啓 希

会計的統合の系譜(I)—アウトプット理論を中心として—……笠井 昭 次
日本型下請生産システムの国際移転可能性……高橋 美 樹
近年における企業に負債依存の低下について

——資本構成理論の倒産コストモデルを使って——……辻 幸 民
1920年代における損益分岐分析ならびに変動予算について

——固定費と変動費との分解をめぐる——……梅田 守 彦

<研究ノート>

「客観性概念」論くその2—主観的な要因の認識を中心に— 友岡 賛
サービス・マーケティングにおける人間的相互作用に関する概念枠組 金 聖 奕

<資料>

社長および各界リーダーのインタビュー・サーベイ(3)

——東京電力副社長, 東亜燃料工業社長, 川崎製鐵社長, 三菱倉
庫社長, 三菱商事会長, イビデン社長, 名古屋相互銀行社長, 三
洋証券社長, 野崎産業社長, 大洋漁業社長, 日本アイ・ピー・エム
社長, 服部セイコー社長——……清水 龍 瑩

頒価 1,000円 送料 250円

慶應義塾大学商学会

発売所
慶應通信
電 03-451-3584

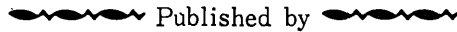
KEIO ECONOMIC STUDIES

Vol. XXIII, No. 1, 1986

Price ¥1,500



- The Oil Price Decline and Economic Growth
in Japan and the U.S. *Dale W. Jorgenson*
- Is Japan Following Europe towards a Society of
Singles? Possible impacts of the rapid increase in life
expectancy on Japanese social structure—As seen
by a European historical-demographer *Arthur E. Imhof*
- A Macroeconomic Model with the Rate of Unemployment
as a Risk Probability under the Government
Budget Restraint *Fumimasa Hamada*
- Returns to Scale, Technical Progress and Output
Growth in Branches of Industry: The Case of
Eastern Europe and the USSR, 1961–75 *Erkin I. Bairam*
- Pareto Optimality and Monetary Competitive Equilibrium
in the Overlapping Generations Model *Shinichi Suda*



Published by

THE KEIO ECONOMIC SOCIETY, Keio University